



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月9日

上場会社名 株式会社 安楽亭

上場取引所 東

コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柳 先

問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部 課長

(氏名) 町田 英之

TEL 048-859-0555

四半期報告書提出予定日 2019年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	3,897	△6.1	91	△0.7	96	8.9	64	58.3
2019年3月期第1四半期	4,150	△1.6	92	△20.5	88	△21.5	40	△51.8

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 59百万円 (51.0%) 2019年3月期第1四半期 39百万円 (△54.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	30.27	—
2019年3月期第1四半期	19.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	15,099	6,175	40.9
2019年3月期	15,486	6,115	39.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 6,175百万円 2019年3月期 6,115百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,014	△4.8	220	30.2	217	40.0	77	22.2	36.01
通期	15,652	△4.2	250	35.1	247	96.0	29	—	13.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	2,139,434 株	2019年3月期	2,139,434 株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,207 株	2019年3月期	1,164 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	2,138,268 株	2019年3月期1Q	2,138,449 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、依然として企業収益は高い水準を維持し、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費も緩やかな回復基調にあるものの、米中貿易摩擦、中国経済の減速等の海外経済情勢の不確実性や今年10月に予定されている消費税増税後の個人消費の落ち込み懸念等、先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、消費者の根強い節約志向に加え、牛肉等の原材料価格の高騰、人手不足に伴う人件費の上昇等、コスト増加の傾向が続いており、厳しい経営環境が継続しております。

このような環境の下、当社グループは、経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」に基づき、お客様の基本ニーズである「安全・安心」に徹底してこだわった「自然肉100%」、「無添加」の商品提供を堅持するとともに、加えて、付加価値の高いメニューの開発や既存店舗の改装を推進し、お客様に満足いただける店舗作りに注力してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高38億97百万円（対前年同期比6.1%減）、営業利益91百万円（対前年同期比0.7%減）、経常利益96百万円（対前年同期比8.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益64百万円（対前年同期比58.3%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 安楽亭業態

安楽亭業態の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は185店舗であります。内訳は直営136店舗、暖簾14店舗、F C 35店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、新メニュー「やわらかBIGステーキフェア」、令和改元記念の「令和！祝いのタン祭り」等のフェアの他、アイドルグループ「ときめき宣伝部」とのコラボフェア等、安楽亭の楽しさを伝える企画を多数実施し、スマホアプリやLINE配信、Twitter等を中心にお客様へのご案内を展開してまいりました。

以上の結果、安楽亭業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は32億43百万円（対前年同期比6.0%減）となり、セグメント利益（営業利益）は2億14百万円（対前年同期比6.3%増）となりました。

② 七輪房業態

七輪房業態の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は28店舗であります。内訳は直営22店舗、暖簾3店舗、F C 3店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「おめでとう令和 松坂牛カルビ販売」、「厳選7品50%増量」、「七輪房の日」、「七輪房ホルモン祭り」等、七輪房の楽しさを伝えるフェアを多数実施し、安楽亭業態同様、スマホアプリやLINE配信、Twitter等によるご案内を展開してまいりました。

以上の結果、七輪房業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は5億71百万円（対前年同期比4.6%減）となり、セグメント利益（営業利益）は34百万円（対前年同期比22.4%減）となりました。

③ その他業態

その他業態の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は9店舗であります。内訳は直営4店舗、F C 5店舗であります。

なお、その他業態には、「からくに屋（焼肉）」、「国産牛カルビ本舗安楽亭（焼肉）」、「花炎亭（焼肉）」、「安楽亭ベトナム（焼肉）」、「春秋亭（和食）」、「上海菜館（中華）」、「アグリコ（イタリアン）」、「カフェビーンズ（喫茶）」を含んでおります。

以上の結果、その他業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は82百万円（対前年同期比18.8%減）となり、セグメント損失（営業損失）は3百万円（前年同期はセグメント損失2百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ3億87百万円減少し、150億99百万円となりました。これは、敷金及び保証金の返還による減少、減価償却による有形固定資産の減少等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ4億46百万円減少し、89億24百万円となりました。これは、借入金の減少等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ59百万円増加し、61億75百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等が要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2019年5月14日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,955,696	2,949,424
受取手形及び売掛金	421,191	356,252
商品及び製品	127,219	118,481
仕掛品	956	1,598
原材料及び貯蔵品	601,611	610,472
前払費用	203,354	199,121
その他	53,918	42,163
貸倒引当金	△5,098	△5,012
流動資産合計	4,358,850	4,272,503
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,697,335	2,764,308
機械装置及び運搬具(純額)	95,480	88,214
工具、器具及び備品(純額)	301,286	321,075
土地	5,003,923	5,003,923
リース資産(純額)	16,213	8,473
建設仮勘定	221,222	3,722
有形固定資産合計	8,335,463	8,189,717
無形固定資産		
のれん	32,011	86,979
その他	129,669	128,641
無形固定資産合計	161,681	215,620
投資その他の資産		
投資有価証券	64,728	59,747
長期貸付金	5,896	5,744
長期前払費用	19,601	23,363
繰延税金資産	153,809	126,473
敷金及び保証金	2,376,896	2,196,981
その他	35,833	35,208
貸倒引当金	△26,048	△25,972
投資その他の資産合計	2,630,717	2,421,546
固定資産合計	11,127,862	10,826,885
資産合計	15,486,712	15,099,389

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	568,482	519,949
短期借入金	1,060,713	1,078,123
リース債務	15,109	8,395
割賦未払金	186,788	185,200
未払金	185,517	201,384
設備関係未払金	129,826	16,250
未払費用	475,777	504,005
未払法人税等	122,484	44,186
未払消費税等	119,535	110,583
賞与引当金	71,000	40,593
転貸損失引当金	13,297	13,297
その他	567,107	529,273
流動負債合計	3,515,639	3,251,242
固定負債		
長期借入金	4,503,555	4,322,518
リース債務	1,534	—
長期割賦未払金	519,189	509,584
繰延税金負債	104,751	104,222
役員退職慰労引当金	368,569	372,585
転貸損失引当金	36,133	32,809
退職給付に係る負債	223,167	221,414
その他	98,534	109,985
固定負債合計	5,855,436	5,673,120
負債合計	9,371,076	8,924,362
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,182,385	3,182,385
資本剰余金	2,472,098	2,472,098
利益剰余金	495,853	560,587
自己株式	△6,704	△6,919
株主資本合計	6,143,632	6,208,152
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△27,611	△32,063
為替換算調整勘定	△384	△1,062
その他の包括利益累計額合計	△27,995	△33,126
純資産合計	6,115,636	6,175,026
負債純資産合計	15,486,712	15,099,389

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	4,150,744	3,897,158
売上原価	1,521,323	1,418,103
売上総利益	2,629,421	2,479,054
販売費及び一般管理費	2,537,283	2,387,530
営業利益	92,137	91,524
営業外収益		
受取利息	349	253
受取配当金	1,095	1,196
受取地代家賃	1,863	1,562
貸倒引当金戻入額	57	161
その他	12,765	12,014
営業外収益合計	16,132	15,188
営業外費用		
支払利息	17,584	8,711
その他	2,398	1,895
営業外費用合計	19,982	10,606
経常利益	88,286	96,106
特別利益		
固定資産売却益	—	15,267
受取保険金	—	52,016
特別利益合計	—	67,284
特別損失		
固定資産除却損	—	494
固定資産圧縮損	—	50,185
賃貸借契約解約損	1,556	—
訴訟和解金	2,050	—
特別損失合計	3,606	50,679
税金等調整前四半期純利益	84,680	112,711
法人税、住民税及び事業税	17,046	20,640
法人税等調整額	26,750	27,336
法人税等合計	43,797	47,976
四半期純利益	40,883	64,734
親会社株主に帰属する四半期純利益	40,883	64,734

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	40,883	64,734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,917	△4,452
為替換算調整勘定	497	△677
その他の包括利益合計	△1,420	△5,130
四半期包括利益	39,463	59,604
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39,463	59,604

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	3,450,144	598,561	102,038	4,150,744	4,150,744	—	4,150,744
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,450,144	598,561	102,038	4,150,744	4,150,744	—	4,150,744
セグメント利益又は 損失(△)	201,571	44,480	△2,118	243,933	243,933	△151,796	92,137

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	3,243,193	571,094	82,870	3,897,158	3,897,158	—	3,897,158
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,243,193	571,094	82,870	3,897,158	3,897,158	—	3,897,158
セグメント利益又は 損失(△)	214,225	34,518	△3,538	245,205	245,205	△153,681	91,524

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、(株)FSDから2店舗を譲り受けたことにより、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては60,668千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。